

公益社団法人日本青年会議所 2026 年度 四国地区 愛媛ブロック協議会	
愛媛活性化委員会 基本方針	
委員長 越智 敬元	
会議/委員会の 基本方針	<p>感謝は力、挑戦は道。人こそが、愛媛の未来。</p> <p>地域に根差した防災力の向上を図るとともに、国際の場を活用し LOM 間で情報を共有調査して隠れた愛媛の魅力を発信し、何度も訪れたいと思える愛媛の実現を目指します。また、挑戦と失敗から学ぶ精神を尊び、成長の機会に感謝できる人財を育成します。JC 運動が次世代と各地域への架け橋となるべく、活力ある運動を展開していきます。</p>
会議/委員会の 設置背景	<p>頻発する自然災害への備えとして、県民一人ひとりの防災意識レベルの高さが生存率向上へと繋がります。また、瞬時に自分の関心のある情報だけが手に入りやすいフィルターバブル取捨選択の社会であり、子どもたちを取り巻く環境が変化中、他者への敬意や挑戦する心を育む機会の創出が不可欠です。さらに、本県が有する魅力は、十分に県外の方に認識されているとは言えません。これらの複合的課題に対応していくため、未来へと続く持続可能な地域社会を構築する必要があります。</p>
会議/委員会の 設置目的	<p>自助の精神に根差した地域特性に応じた防災体制の構築を推進し、地域防災力の向上を図ります。勝敗に固執せず相手を称える「グッドルーザーの精神」の学びから、未来を担う人財を育みます。さらに、ASPAC という国際交流の機会を捉え、愛媛に訪れてみたいという方の増加に貢献すべく事業展開します。これらの運動を通じ、愛媛ブロック全体の機運を高め我々の運動が影響を与えることができた次世代に繋げることを目的とします。</p>
会議/委員会 事業概要	<p>■【プロ連】FCP(Family Continuity Plan 家族継続計画)の導入に向けた運動の推進</p> <p>■事業背景</p> <p>近年頻発する豪雨災害や、今後発生が予測されている大規模災害に対する備えの重要性が高まっています。無知と既知では 0 と 100 ほどの違いがあり、災害時に家庭が混乱なく行動できる体制を整えるために、FCP(Family Continuity Plan:家族継続計画)の導入が必要です。</p> <p>■事業目的</p> <p>各家庭への FCP の導入を推進し、家庭で安否確認・避難先・備蓄を事前に整理し、行動を明確にすることで家庭単位での防災意識を高め、自助力の向上を図ります。</p> <p>■手法</p> <p>日本青年会議所作成の FCP シートや、国土交通省提供の「逃げキッド」を活用し、FCP 作成ワークショップを開催します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)実施日:2026 年 4 月～7 月 <ol style="list-style-type: none"> <li>①各 LOM 対外事業</li> <li>②愛媛ブロック協議会会員会議所後</li> <li>③ブロック大会記念事業 7 月 25 日</li> </ol> </li> <li>2)場所:愛媛県内</li> <li>3)予算総額:150,000 円</li> <li>4)事業対象者:愛媛ブロック内各 LOM、一般来場者</li> <li>5)成果目標:FCP シート導入率の向上</li> <li>6)パートナー <ol style="list-style-type: none"> <li>1)日本青年会議所(協力、連携)</li> <li>2)愛媛県内各 LOM(協力)</li> </ol> </li> </ol> <p>■JC カップ U-11 少年少女サッカー愛媛ブロック予選大会の開催</p>

### ■事業背景

現代の子どもたちは、情報過多な社会のなかで競争や成果主義にさらされる一方で、他者への敬意や共感性、挑戦に対する健全な価値観を育む機会が減少しています。そして人生においては全員が勝者の立ち位置ではなく敗者であることもあります。負け方にも十人十色ありますが、『全力を出し切った、その上で相手の方がもっと頑張っていたから力及ばず負けた』、潔い負けっぷりは単なる勝敗を越えて、次に負けないようにするため相手からも学ぼうとする姿勢に繋がります。相手を称え、感謝と敬意を持てる子どもたちを自立した人間として成長を促すために、今まさに必要な心の在り方です。また県内に留まらず、四国地区大会の開催に向けて、愛媛ブロックでの予選大会を実施することで、全国へとつながる育成の機会を創出する必要があります。

### ■事業目的

サッカーを通じて、自らに足りなかった部分に想いを馳せる。そこから何を学び、どのようにその先につなげていくのかという思考や行動が肝要になります。勝敗にとらわれず相手を称える「グッドルーザーの精神」を具現化できることが、子どもたちの道徳心と自立心を養います。さらに、全国大会へとつながる挑戦の機会を提供することで、全国にも同様に切磋琢磨できるライバルたちがいて、周りを巻き込み夢や目標に向かって努力する姿勢を育て、地域の未来を担う人財の育成とコミュニティの活性化を図ります。

### ■手法

地域のサッカーチームや関係団体と連携し、JCカップU-11 少年少女サッカー愛媛ブロック予選大会を開催します。大会では「グッドルーザーの精神」を育むカリキュラムを導入し、優勝チームには四国地区予選大会への出場権を付与します。

- 1) 実施日: 2026 年 5 月
- 2) 場所: ビバ・スポーツピア SAIJO
- 3) 予算総額: 250,000 円
- 4) 事業対象者: 愛媛県内少年少女サッカーチーム
- 5) 成果目標: 愛媛ブロック予選大会の開催及びグッドルーザー精神の理解度向上
- 6) パートナー
  - 1) 愛媛県サッカー協会(協力、連携)
  - 2) 愛媛県内少年少女サッカーチーム(協力、連携)

### ■地域の魅力発信事業の実施

#### ■事業背景

愛媛県は、瀬戸内海と宇和海に囲まれた豊かな自然と、石鎚山・道後温泉などの観光資源、そして工業・サービス業が発展する都市機能を併せ持つ魅力的な地域です。今治市でいうタオルや造船等、東予・中予・南予それぞれに根差した文化や産業があり、地域資源や魅力は多様で可能性に満ちています。2026年度はASPACが新潟で開催されることから、愛媛の魅力を国内外多くの方に認識していただく機会があります。

#### ■事業目的

愛媛の魅力を愛媛県外の方に多く知っていただき愛媛に訪れたいと思っていただける方を増やすとともに、愛媛地区のメンバーには国際的な機会への参加を促進します。また、愛媛地区のメンバーが愛媛の魅力を世界に発信することで、国際的な視点を感じると同時に外から見た愛媛の良さを再発見し、郷土への愛着を育むことができます。さらに、次世代を担う若きリーダーたちが、広い知見を持って地域の課題に向き合っていくために、次世代につなぎ国際を身近に感じられる機会を創出することを目的とします。

#### ■手法

	<p>ASPACにおけるジャパンナイトでブース出展を行い、愛媛の魅力を伝えられるコンテンツを用意します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1)実施日:2026 年 6 月 11 日～14 日</li><li>2)場所:新潟県</li><li>3)予算総額:250,000 円</li><li>4)事業対象者:愛媛ブロックメンバー、JCI メンバー</li><li>5)成果目標:ブース参加者 200 人</li><li>6)パートナー<ol style="list-style-type: none"><li>1)日本青年会議所(協力、連携)</li><li>2)愛媛ブロック内メンバー(協力)</li><li>3)海外 NOM、LOM、メンバー(協働)</li></ol></li></ol>
--	---